

## シラバス参照

## 心理学概論('24)

## Introduction to Psychology('24)

主任講師名: 森 津太子(放送大学教授)、向田 久美子(放送大学教授)

## 【講義概要】

心理学に興味を持つ者は多いが、そのほとんどが心理学という学問について漠然とした印象しか持っておらず、また知識を持っていたとしても、特定の心理学領域についてのものに偏っていることもある。心理学は、ひとの心という捉えどころのないものを研究対象としており、それゆえに扱うトピックの幅も広い。そこで本科目は、心理学を学び始める者が、その第一歩として、心理学がどのような学問かを知り、今後、心理学のどの領域の学習を中心に進めるとしても、その基盤となるような知識を提供する。具体的には、心理学という学問の基本的な考え方や、研究方法、学問成立の背景などを紹介するとともに、個別の心理学領域についても概説していく。

## 【授業の目標】

心理学という学問の基本的な考え方や、研究方法、学問成立の背景などを理解するとともに、個別の心理学領域の現況を概観し、心理学の学習をさらに進めていく上での基礎とする。

## 【履修上の留意点】

「心理と教育へのいざない('24)」を履修していることが望ましい。  
※この科目は、2016年度以降のカリキュラムの方においては心理と教育コース開設科目ですが、人間と文化コースで共用科目となっています。

## 各回のテーマと授業内容

## 第1回 心理学とは

心理学は人の心を研究する学問であるが、「心の科学」や「行動の科学」とも呼ばれている。この回では、心理学とはどのような学問か、その基本的な考え方や、成立背景について概説する。また、心理学の基礎資格である「認定心理士」の分類を参考に、心理学の諸領域について解説する。

## 【キーワード】

心理学の歴史、基礎心理学、応用心理学、認定心理士

執筆担当講師名: 向田 久美子(放送大学教授)  
放送担当講師名: 向田 久美子(放送大学教授)  
森 津太子(放送大学教授)

## 第2回 心理学の研究手法

人の心の働きや行動の原理を明らかにするためには、何らかの客観的な証拠に基づいて議論することが必要である。心という捉えどころがない対象に迫るために考案されてきた研究方法(実験、観察、調査、面接、事例研究)について解説する。

## 【キーワード】

構成概念、実験、観察、調査、面接、事例研究

執筆担当講師名: 高橋 秀明(放送大学教授)  
放送担当講師名: 高橋 秀明(放送大学教授)

## 第3回 知覚心理学

目、鼻、口といった感覚器官で捉えられた情報は、脳に伝えられ、そこで解釈が加えられたときにはじめて知覚となる。その意味で、知覚は、私たちが考えたり、行動したりする前に生じる、ごく初期段階の心の働きといえる。知覚研究の成果を通じて、知覚という心の世界を探求する。

## 【キーワード】

感覚と知覚、絶対閾と弁別閾、知覚の体制化、知覚の恒常性、精神物理学

執筆担当講師名: 森 津太子(放送大学教授)  
放送担当講師名: 森 津太子(放送大学教授)

## 第4回 学習心理学

私たちは経験を通してさまざまなことを学習する。そうした学習が成立するメカニズムを解明しようとするのが学習心理学である。この回では、代表的な学習理論を取り上げ、そのそれぞれが学習をどう捉えているのかについて解説する。また、学習心理学との関連が深い認知心理学についても、その一端に触れていく。

メディア	テレビ
放送時間	2026年度【第2学期】(土曜) 07:30~08:15
単位認定試験提出方法	Web
単位認定試験期間	2027/01/17 09:00 ~ 2027/01/25 17:00
学習センター試験日/時限	2027/01/24 1時限 (09:45~10:35)
学部・院	教養学部
科目区分	('24カリ) コース科目 導入科目 心理と教育
科目コード	1720104
ナンバリング	220
単位数	2単位
単位認定試験平均点	2025年度2学期(83.2点) 2025年度1学期(85.6点)
インターネット配信	あり
改訂回	第1,2,5,6,7,9,10,14,15回
改訂内容	
履修制限	心理学概論('18)の単位修得者は履修不可

## 【キーワード】

古典条件づけ、道具的条件づけ、観察学習、洞察学習、認知心理学

執筆担当講師名:進藤 聡彦(放送大学特任教授)

放送担当講師名:進藤 聡彦(放送大学特任教授)

ゲスト:

渡辺 茂(慶應義塾大学名誉教授)

## 第5回 生理心理学

心理学は、哲学と生理学をつなぐ学問だという見方がある。心の中核とされる脳への関心は、現代心理学が誕生した当初より高く、さまざまな研究が行われてきた。脳を中心とする中枢神経系の基本的な仕組みと働きを解説しながら、心と脳との関係を探っていく。

## 【キーワード】

神経細胞(ニューロン)、脳、側性化(ラテラルティ)、機能局在論、fMRI

執筆担当講師名:森 津太子(放送大学教授)

放送担当講師名:森 津太子(放送大学教授)

## 第6回 比較心理学

人間は、どのようにして現在のような心の働きを持ちえたのだろうか。進化論を背景に、他の動物との比較を通じて、人間の心の働きを明らかにしようとするのが比較心理学である。比較心理学の基本的な考え方と具体的な研究をもとに、ヒトという動物の心を探求していく。

## 【キーワード】

進化論、弁別学習、期待違反法、マークテスト(ルージュテスト)、マキャベリの知性

執筆担当講師名:森 津太子(放送大学教授)

放送担当講師名:森 津太子(放送大学教授)

## 第7回 教育心理学

教育心理学では、教育の多岐にわたる問題を心理学の視点から解明し、教育実践に役立てようとしている。この回では学校教育に焦点をあてて、教科学習や動機づけの問題、学級のなかで子ども達が学ぶ社会性の問題などについて、教育心理学がどのようにアプローチしているのかを紹介していく。

## 【キーワード】

教授・学習過程、動機づけ理論、学級の特徴、社会性の獲得

執筆担当講師名:進藤 聡彦(放送大学特任教授)

放送担当講師名:進藤 聡彦(放送大学特任教授)

## 第8回 発達心理学

発達心理学は、人の生涯にわたる心身の変化とそれが生じるしくみを研究する学問である。発達の研究対象はかつては子どもだけであったが、現在は大人も含むようになり、発達を多次的・多方向的に見ようになっている。この回では、発達研究の歴史、発達研究の方法、遺伝と環境、発達段階と発達課題について概説する。

## 【キーワード】

生涯発達、縦断と横断、遺伝と環境、発達段階、発達課題

執筆担当講師名:向田 久美子(放送大学教授)

放送担当講師名:向田 久美子(放送大学教授)

ゲスト:

鈴木 忠(白百合女子大学教授)

## 第9回 臨床心理学

臨床心理学は、心理学のなかでも特に実践との結びつきが強い領域であり、心の問題を抱えている人の支援を主な目的としている。心の健康を保つことは、身体の健康の維持とともに、人の生涯にわたる課題の一つであり、その意味でも臨床心理学の果たす役割は大きい。この回では、臨床心理学の基本的な考え方、実践方法について概説する。

## 【キーワード】

心理アセスメント、心の病、カウンセリング、心理療法

執筆担当講師名:向田 久美子(放送大学教授)

放送担当講師名:向田 久美子(放送大学教授)

## 第10回 パーソナリティ心理学

パーソナリティ心理学は、主に人の性格を研究する領域である。自分や他者がどのような人物であるかを知ることが、日常生活ではもちろん、進学や結婚、就職などのライフイベントにおいても重視される。この回では、古典的な理論から最新の知見に至るまで、パーソナリティの捉え方について概説する。

## 【キーワード】

類型論、特性論、ビッグファイブ、人-状況論争、ライフストーリー、性格検査

執筆担当講師名:向田 久美子(放送大学教授)

放送担当講師名:向田 久美子(放送大学教授)

## 第11回 社会心理学

人間の行動は、その人の内側にある心だけでなく、その人を取り巻く環境や置かれた状況によっても影響を受ける。なかでも他者の存在は、社会的動物である人間にとって、行動を大きく左右する原因だが、その影響力の強さを私たちは十分に認識していない。この社会的影響に関する研究の成果を中心に、社会心理学を概観する。

### 【キーワード】

レヴィンの公式、社会的促進、社会的手抜き、同調、服従、基本的な帰属のエラー

執筆担当講師名: 森 津太子(放送大学教授)

放送担当講師名: 森 津太子(放送大学教授)

## 第12回 産業・組織心理学

心理学の各分野は、しばしば基礎心理学と応用心理学に大別される。産業・組織心理学は応用心理学の代表格であり、基礎心理学の知見を産業・組織の現場、すなわち職場に应用することで発展してきた。そのような歴史を辿るとともに、産業・組織心理学が扱う幅広い研究テーマの中から、組織行動に焦点をあてて概説する。

### 【キーワード】

科学的管理法、ホーソン効果、リーダーシップ、組織コミュニケーション

執筆担当講師名: 森 津太子(放送大学教授)

放送担当講師名: 森 津太子(放送大学教授)

## 第13回 文化心理学

従来の心理学は、人の行動や心の働きの普遍性を明らかにすることを目的としてきた。一方、20世紀の終わりごろに成立した文化心理学では、心の働きや行動における文化的文脈の重要性を強調し、心と文化の相互構成的関係を追究している。この回では、文化心理学の主要な研究成果について概説する。

### 【キーワード】

個人主義と集団主義、相互独立的自己観と相互協調的自己観、分析的思考と包括的思考

執筆担当講師名: 向田 久美子(放送大学教授)

放送担当講師名: 向田 久美子(放送大学教授)

ゲスト:

増田 貴彦(アルバータ大学准教授)

## 第14回 心理統計学の役割

心理学では統計学を多用する。心を数値化し、統計的に処理することには、どのような意味があるのだろうか。このような疑問に答えつつ、心を測る物差しと心理統計学の基礎を概説する。

### 【キーワード】

尺度水準、記述統計、要約統計量、推測統計、母集団と標本、有意性検定

執筆担当講師名: 高橋 秀明(放送大学教授)

放送担当講師名: 高橋 秀明(放送大学教授)

## 第15回 心理学を学ぶということ

改めて心理学という学問の魅力がどこにあるのかを考える。またこの先、心理学の学びを進める人に向けて、学び方についての指針を示す。

### 【キーワード】

心理学の魅力、「心」への関心と研究アプローチ、心理学の学び方

執筆担当講師名: 森 津太子(放送大学教授)

放送担当講師名: 森 津太子(放送大学教授)

向田 久美子(放送大学教授)

✕ 閉じる